

○ロータリー財団管理委員長来日

7 月 25 日、ゲイリー・C. K. ホアン 2019-2020 年度ロータリー財団管理委員長との懇談の集いがホテルニューオータニにて開催され、第 2820 地区からも保延 DRFC をはじめとする方々が参加されました。



既にご承知のことと思いますが、

ホアン委員長が掲げる世界目標は次の通りです。

- ・寄付目標 4 億ドル その内訳は
- ・年次基金 1 億 4 千万ドル
- ・ポリオプラス基金 1 億 5 千万ドル
(うち 1 億ドルはビル&メリンダ・ゲイツ財団から)
- ・恒久基金 7 千 5 百万ドル
(最終目標 2025 年までに 20 億 2 千 5 百万ドル)
- ・その他の基金 3 千 5 百万ドル
(グローバル補助金への現金拠出等)

となっています。その他に DDF を今までより少なくとも 5%多く活用するよう要請されています。

我が 2820 地区は DDF を積極的に活用していますが、会員の皆様の新しいアイデアで更なる世界貢献をしようではありませんか。

※ R I 日本事務局財団室 NEWS 8 月号参照

○DG2084355 本格始動

8 月 21 日中村澄夫 G 年度の地区補助金が振り込まれました。総額 \$94, 922. の事業を本格的にお始め下さい。

7 月末、TRF から上記事業は承認はされたものの、前年度の補助金事業 DG1966110 報告書が未承認で、中村年度の事業費がなかなか送金されず地区財団の担当者は気が気ではありませんでした。ようやく 8 月 13 日、高橋健吾 G 年度の報告書が承認され事業終了の連絡が届きました。その後 22 日に無事地区の監査を受けられました。

今回、申請書の提出締切を早めたにも拘わらず、書類不備が多く、地区として TRF への申請が大幅に遅れた

結果、承認も遅れ、各クラブの事業も年度当初から始めることが出来ませんでした。

また、同じく高橋 G 年度の報告書の提出及び不備解決にも大幅な遅れが生じ、地区補助金の入金にも時間がかかることとなりました。

地区内各クラブにおかれましては、中村澄夫 G 年度の事業報告書の作成・提出は締切厳守 (2020 年 5 月末日) をお願い申し上げます。

余談ですが、今年度補助金事業の完了報告書の第 1 号は既に提出されています。

○大型 GG1989318 支援確定

ネパールはポカラ RC が提唱し、台北華中 RC が国際パートナーを務める総額 40 万ドル超のハート・ケア・センター設立事業がこの 8 月 24 日「地区の承認待ち」の状態になっています。わが 2820 地区としても下館 RC が窓口になって 3 万ドルの支援を行います。皆様にも事業の成功を見守っていただきたく存じます。

現在、地区では前年度から継続で次の 6 件の事業が稼働中です。

- ・「基本的教育と識字率向上」を目的として
GG1753266 実施地 ネパール
- ・「疾病予防と治療」を目的として
GG1977970 「母子の健康」も狙いに 実施地 タイ
GG1980678 実施地 タイ
GG1981351 実施地 ネパール
GG1983572 実施地 フィジー
- ・「平和構築と紛争予防」を学ぶための奨学金として
GG1988585 実施地 イギリス

地区内各クラブの会長、幹事、財団委員長の方々は My Rotary > ローターリー財団 > 補助金センターと辿り「補助金の検索」から補助金番号を入力すれば、事業の詳細をご覧いただけるはずですよ。

グローバル補助金事業を知りたい、挑戦したいとお考えの場合は是非お試しください。

※「重点分野」の名称の変更

グローバル補助金 (GG) 事業を企画する際に必須条件となる 6 つの重点分野の名称が変更になりました。その基本方針についても順次書き換えられるとのことですよ。詳細は、R I 日本事務局財団室 NEWS 7 月号を！

《R I 第 2820 地区ロータリー財団内小委員会紹介》

ここからは地区のホーム・ページ「組織図」に掲載されている財団内の小委員会の業務を各委員長に紹介してもらおうコーナーです。

◇ポリオプラス委員会

委員長 鈴木 武士 (つくばシティ)

ロータリーは 1985 年に予防接種でポリオ根絶をめざす「ポリオプラス」を開始しました。「プラス」という言葉は、子どもに流行する他の伝染病の予防接種にも貢献できるという考えからです。

これまでに、ロータリーは 122 カ国の 25 億人以上の子どもに予防接種を行うために多大な時間と資金を捧げてきました。現在も野生ポリオウイルス感染があるのは、アフガニスタン、ナイジェリア、パキスタンの 3 カ国で 2018 年の報告では 33 件です。

毎日約 1,000 件が発症確認されていた 1980 年代と比較すると 99.9%以上の減少となりましたが、様々な障害（遠隔地、紛争等）のため残り 0.1%の闘いが最も困難です。ポリオを根絶するまでは、世界中の国が再発生のリスクにさらされています。

根絶の実現にさらに近づくために、我々ロータリアンとしての行動にはまず、「寄付」があります。予防接種や監視には現在も資金が必要です。また、10月24日の「世界ポリオデー」を通じて、ポリオ根絶の取り組みにご参加ください。そして、皆さまの「声」が必要です。SNS、写真や動画など、ポリオ根絶の情報発信をお願いします。

<https://my.rotary.org/ja/take-action/end-polio>

ポリオのない世界まであと少しです。皆様のご協力をお願いします。

◇下は、2018年10月のストリートビューです。

場所は、お分かりになりますか？



※7月1日より、Eradication の日本語訳を「撲滅」から「根絶」に変更することになりました。

◇資金管理委員会

委員長 宇留野 秀一 (水戸南)

資金管理小委員長を仰せつかっております、宇留野秀一と申します。財団の資金管理と資金管理委員の役割についてご紹介します。

ロータリー財団はクラブの皆様が、財団補助金を利用して、奉仕プロジェクトを実施するためのサポートを行っています。財団補助金は皆様の寄付によって構成される大切な資金ですので、適正に運用されるよう管理をするのが資金管理の役目です。具体的には MOU (覚書・Memorandum of Understanding) というプロジェクト資金を扱うための指針を、補助金の利用に際して周知徹底していただくよう、セミナーなどでお伝えしていくこととなります。

これに加えて、資金管理委員は財団委員会の事務局的な位置づけとなっており、財団主催のセミナーはもちろんのこと、財団委員会のミーティングや財団が関わるその他のイベントの段取りや運営をすることが、主な仕事になっています。

その中でも最も重要な仕事が、例年3月に行う「補助金管理セミナー」です。このセミナーは補助金ガイドラインをはじめ、地区補助金の利用に向けた重要な事項をお伝えしていく機会です。当地区は毎年ほとんどのクラブが地区補助金を利用する非常に活発な地区ですので、多数のプロジェクト担当者がしっかりと理解していただけるイベントにすることを心掛けています。

資金管理の最も重要なイベントが、前年度の3月にやってくるというあたりから、クラブの皆様が充実した奉仕プロジェクトを実施していただけるよう、財団が年度に先駆けて動いているということをご理解いただけたら幸いです。

←左の写真は、ロータリー財団 (TRF) の本部が入るビルの正面です。